

都市デザイン部長マニフェスト（評価及び検証）

重点課題 ①

難易度

自己評価

コンパクトなまちづくりに向けた計画的な土地利用の検討



（評価検証）平成28年12月31日

★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

人口の減少と高齢化社会を背景として、20年、30年先を見据えた安心して快適な都市経営を持続可能とするために、医療、福祉施設、商業施設等や住居等がまとまって立地し、公共交通が連携するコンパクトなまちづくりに継続して取り組む。

取組結果・実施状況

27年度に引き続き、今年度においても都市的土地利用や農地・緑地の推移、開発許可の状況等、また、人口推移に伴う中心商業市街地における賑わいの動向などの把握に努め、今年度策定の公共施設等総合管理計画の再配置計画（案）を基に検討を進めている。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・モデル地区の立案については、公共施設の統廃合、配置計画等が密接に関連することから、公共施設等総合管理計画との連動や整合性を図り、継続して検討を進める。
- ・空家等対策推進事業を推進する。

取組結果・実施状況

モデル地区の立案については、公共施設等総合管理計画との連動や整合性を図り、引き続き検討を進める。

また、空家等対策推進事業については、協議会を開催し、計画策定に向け進めている。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

- ・第4次柏原市総合計画施策目標の「必要な都市機能がまとまった利便性の高い良好なまちづくりの推進」に基づき、今後の都市づくりの指針となる。
- ・市内の空家の実態調査を実施し、対策計画を策定することで、今後は計画に基づき、利活用も含め、まちづくりの中で空家等対策の推進が図れる。

取組結果・実施状況

- ・コンパクトなまちづくりについては、将来的な構想として本市の特性を踏まえ、既存の計画との整合を図り安全で住みよいまちの実現を目指す。
- ・空家等対策推進については、今年度に計画を策定する。今後は、計画に基づき、利活用も含め、まちづくりを推進することで活性化に繋がる。

重点課題 ②

難易度

自己評価

災害に強いまちの構築

B

概ね達成

★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

平成20年7月、「柏原市耐震改修促進計画」を策定し、既存建築物の耐震診断や耐震改修についての補助制度を構築しています。

平成28年度においても補助制度を継続し、より事業の推進に向けて、制度の啓発に重点をおき、住宅所有者の耐震化への支援の拡充に取り組み、まちの耐震性能の向上を目指します。

取組結果・実施状況

耐震化の促進を加速するために、耐震改修補助金の300,000円上乗せを継続できるよう大阪府と協議・連携を行ない確保に努めている。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・平成28年度耐震診断件数（目標値）：30戸
- ・平成28年度耐震改修件数（目標値）：15戸

【参考】実績件数

- ・平成27年度 耐震診断：20戸
- 耐震改修： 6戸

取組結果・実施状況

- ・平成28年度耐震診断件数：25戸
- ・平成28年度耐震改修件数： 4戸

※耐震改修については、申請後に改修費用が高額になるため、断念されるケースも見受けられる。また、高齢者世帯の増加により、今後、空家対策と連鎖する可能性もあり、より積極的な制度の推進に努める必要がある。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

耐震化の促進により地震発生時の倒壊建物が減少し、まちの耐震性能の向上が図れる。

取組結果・実施状況

建物所有者の自主的な取組みをできる限り支援することで、耐震化の阻害要因を解消又は軽減が図れる。

効果的・効率的な道路整備と維持管理の推進



★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー化を推進するとともに、道路の拡幅により、車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では、良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図るため、ハード・ソフト両面の取組みを行う。

また、道路の維持管理については、計画的な維持補修に取り組むとともに、点検パトロールの強化や、多くの市民との協働により、安全の確保や利便性の向上と美化活動にも取り組む。

取組結果・実施状況

交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路や危険な通学路などについて、優先的に歩道整備や道路改良を行ない、合わせて国道25号の交通渋滞を解消するため、大阪国道事務所と協議を進めた。また、国土交通省へは引き続き渋滞解消対策を講じていただくよう要望活動も行った。

道路の維持管理については、「舗装修繕計画」に基づき、老朽化した舗装面の補修工事の進捗を図っている。

橋りょうについては、「橋りょう長寿命化計画」に基づき、計画的な補修と合わせて耐震補強に向け、関係機関協議や設計業務を進めている。また、日常の道路パトロールや市民からの通報による道路の破損等については、迅速に対処している。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・ JR 柏原駅西口交差点歩道設置工事
- ・ 林道信貴太平寺線整備事業（予備設計調査業務）
- ・ 上市法善寺線道路整備事業（用地・建物の鑑定及び用地交渉）
- ・ 国分寺大橋調査設計業務（調査及び設計）
- ・ 玉手橋老朽化対策検討業務
- ・ 田辺旭ヶ丘線再評価業務
- ・ 土砂災害特別警戒区域内既存建物移転・補強補助金

取組結果・実施状況

- ・ JR 柏原駅西口交差点歩道設置工事
工事進捗中（年度内完成予定）
- ・ 林道信貴大平寺線整備事業（予備設計調査業務）
業務進捗中（年度内完了予定）
- ・ 上市法善寺線道路整備事業（用地・建物の鑑定及び用地交渉）
3件の補償算定を実施中（金額提示後交渉開始）
- ・ 国分寺大橋調査業務（調査及び設計）
業務進捗中（年度内完了予定）
- ・ 玉手橋老朽化対策検討業務
業務進捗中（年度内完了予定）
- ・ 田辺旭ヶ丘線再評価業務
再評価委員会を平成29年2月より開催予定
- ・ 土砂災害特別警戒区域内既存建物移転・補強補助金
実績なし。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

- ・JR 柏原駅西口交差点の歩道整備を行うことで、歩行者の安全確保が図れる。
- ・林道信貴大平寺線整備及び上市法善寺線道路整備を行うことで、車両、歩行者の安全性が確保され、また渋滞緩和も図れる。
- ・国分寺大橋は、地域防災計画において、地域緊急交通路に位置づけられている重要な橋であり、耐震補強を行うことで、重要な役割を果たせる。また、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕により、ライフサイクルコストの低減と長寿命化の図ることができる。
- ・田辺旭ヶ丘線の再評価は事業の必要性や費用対効果等の分析を行い、事業手法や施設規模の見直し等を実施することで、今後の道路整備事業に反映できる。
- ・土砂災害特別警戒区域内の建築物に対し、住民自らが実施する移転及び補強対策に対し、その一部分について助成を行うことで、災害防止対策の推進が図られる。

取組結果・実施状況

誰もが安全で安心して移動できるための歩道整備、道路の拡幅や交通危険個所の解消などに取り組むことにより、利便性の向上に繋がり、良好な市街地の形成が保たれる。

重点課題 ④

難易度

自己評価

交通安全対策の推進



★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

交通安全施設の整備や適切な管理を行うとともに、放置自転車を減らし、車両や歩行者の安全を確保して、市民が安心できるよう交通環境の向上に取り組めます。

また、警察・交通安全協会と連携し、交通ルールの遵守を呼びかけて、交通安全意識の高揚を図り交通事故防止に努める。

取組結果・実施状況

自転車等放置自転車禁止区域内で放置自転車ゼロを目指し、啓発活動に努めた。結果、昨年度と比較しても削減につながった。また、交通安全意識の高揚を図るため、昨年同様に交通安全キャンペーンや交通安全教室などを警察署と連携を図り、より充実した内容で実施を行なった。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・ 放置自転車等への警告札貼付枚数：5000枚以下
- ・ 交通安全キャンペーン等の啓発活動の実施回数：30回以上
- ・ 柏原駅東自動車駐車場の使用台数：10台/日以上

取組結果・実施状況

- ・ 放置自転車等への警告札貼付枚数：7700枚
※貼付枚数増加については、柏原駅西側で交差点歩道設置工事の着工に併せて放置自転車の対策強化するため、今までは買い物等で一時的な駐輪車には声掛けで対応していたが、事故や混乱防止のため警告札貼付を強化したため枚数が増加した。
- ・ 交通安全キャンペーンの啓発実施回数：35回
- ・ 柏原駅東自動車駐車場の使用台数：9.4台/日

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

交通安全施設の適切な管理や交通安全キャンペーンなどの継続的な啓発により交通安全意識が向上し、交通事故抑止を行うことにより、市民が安心できる交通環境が確保される。また、公共交通の利用促進により交通渋滞の緩和に繋がる。

取組結果・実施状況

道路交通法改正により、自転車に関する違反項目が設置されたことを受け、「交通安全市民の集い」や「柏原市民総合フェスティバル」等で市民に広く啓発活動を実施した。このような交通安全に対する活動を根気よく継続的に行うことにより、交通安全に対する意識向上が図られる。

安全で快適な公園や広場などの確保及び緑の環境の保全



★目指す方向の実現に向けて、今年度は何をするのか？

遂行目標

地域のインフラとして愛着のある、安全で快適な公園・広場の確保を目指す。また、本市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例の改正を目指す。

取組結果・実施状況

地域の公園として、愛着を深めていただけるように草刈、剪定、清掃などの作業を地域と共同で取り組むように働きかけを行なった。また、実施にあたっては、清掃用具、ごみ袋の支給や迅速なゴミ袋の収集に努め、安全で快適な公園管理を目指した。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

- ・大泉2丁目地内公園整備工事
- ・柏原市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例の改正を行うため、必要となる手続きに着手する。

取組結果・実施状況

- ・大泉2丁目地内公園整備工事については、28年5月より地元協議を進め、11月中頃より工事着手し、29年2月末完成予定です。また、完成に併せて地域協働による管理協定を締結する予定で協議を進めている。
- ・市土砂条例改正に向け、大阪府と条例の内容や運用方針について協議を行い、また近隣市町村の内容も踏まえ市条例改正(案)を引き続き検討する。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

- ・大泉2丁目地内で公園を整備することで、地域での安全で快適な公園が確保でき、また、防災公園としての機能も確保できる。
- ・土砂等による埋立て等の行為について、適正な規制を行うことにより、災害の防止及び生活環境の保全に繋がる。

取組結果・実施状況

- ・市内の利用頻度の多い公園から順に安心・安全に利用していただくために、不具合発生時の迅速な対応や緊急連絡先等を明記した看板設置等の対応を強化した。
- ・大阪府技術基準に則った事業者への指導方法等を精査し、引き続き大阪府と整合性など調整を行い、本市の土砂条例の改正を目指す。

(評価日) 平成29年2月6日

市長評価

(B) 奨励 : 頑張って目標を達成し、満足できる結果である。さらなる向上を目指してもらいたい。

市長のコメント

- ・法善寺駅、堅下駅のバリアフリー化についてスピード感を持ってすすめること。
- ・大県本郷線の整備に伴い改修が必要となる交差点について改修の検討を進めること。
- ・市街化区域、市街化調整区域の線引きについて見直しの検討を進めること。